

IV 青少年を地域で健やかに育てましょう

青少年は、学校と塾が生活の中心となり、同世代のつきあいに終始するといった狭い世界で生活するようになっていきます。

青少年が、地域に出ていき、多世代の人と交流する中で自分の存在を確認し、様々な体験を通じて多くのことを学んで、健やかに成長できるように、地域で支えることが大切です。

家庭・学校・地域がそれぞれの役割を認識し合い、協働しながら、地域が主体となって、未来を拓く青少年を育てましょう。

1 青少年が地域にかかわる機会をつくりましょう

○地域を青少年が活動しやすい環境にしましょう

- ・親や地域の方は、青少年が地域で活動するよう呼びかけましょう。
- ・青少年が参加しやすく、興味のある催しを企画しましょう。



神戸地域夢会議「科学実験教室」

◇青少年の活動の場づくりをめざして、アートなどを通じたイベントを開催(H16～)
(ビジョン委員会活動)

◇「青少年育成文化芸術団体ぷちばんそー」が文化芸術活動を通じて、障害児を含む子どもや青少年のための活動の場を提供

○学校や地域において、青少年の自然体験、農漁業体験、勤労体験をはじめ、地域の人との交流活動などの様々な体験活動の機会をつくりましょう。

◇「N.P.O. シーシーアール」が中高生の農業体験と都市と農村との交流を実施



N.P.O.シーシーアールのご平餅つくり交流

○地域の行事において、青少年に主体性のある役割を担ってもらいましょう。

- ・青少年は、積極的に、主体性のある役割を担いましょう。

2 青少年の居場所をつくりましょう

○青少年が、気楽に立ち寄れ、楽しく、自分らしく活動できる場所をつくりましょう。

- ・青少年は、自分たちで自分たちの居場所をつくりましょう。

○青少年の自主的な活動に、地域の既存施設が使えるよう提案しましょう。

○地域で、青少年が自主的に、自分たちの活動の場を運営できるよう支えましょう。

- ・青少年は、自分たちで活動の場を運営していきましょう。
- ・青少年のうち、年長者は、年少者にリーダーシップを発揮しましょう。

3 地域と学校の連携を進めましょう

子どもも含めて、青少年が、健やかに成長するためには、地域と学校が連携することが大切です。

○地域と学校の交流を深めましょう

- ・学校で、地域の人と交流したり、伝統文化に触れる機会をつくりましょう。
- ・地域で、ボランティア体験をする機会をつくりましょう。

○地域が学校教育にかかわっていきましょう。

- ・社会人が学校で教えられ仕組みをつくりましょう。
- ・地域のことを校外授業で学ぶ仕組みをつくりましょう。
- ・PTCAや地域教育推進委員など、地域ぐるみで教育に参加しましょう。

◇地域で「寺子屋クラブ」を設立し、大人と子供が一緒になって楽しめる各種イベントを実施

○学校と地域の福祉施設を結ぶネットワークを築きましょう。

- ・トライやる・ウィークなどで、生徒ボランティアを福祉施設に受け入れてもらいましょう。

○空き教室などの学校の施設を地域内の交流や地域づくり活動の場として活用しましょう。

- ・例えば、子どもと高齢者との交流、子どもと青少年との交流、あるいは多世代の人との交流の場として活用しましょう。

4 地域からは地域の青少年を“気にかける”ようにしましょう

○地域からは、自分の子どもを見る眼差しで、地域の青少年を見守りましょう。

○大人は地域の“おじさん”や“おばさん”として、青少年に気軽に声をかけましょう。

○地域の催しなどで、青少年と地域の多世代の人との交流の輪を広げていきましょう。

◇「キッズジュニア315実行委員会」が子どもたち（3歳～15歳）を中心に、イベントを通じて大学生、大人との世代間交流を実施